※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)古典精読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	読み解く古文１（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学や短期大学への進学希望の生徒向けです。さまざまなジャンルの古典文学作品を学習することにより、語彙力や文学史の基礎を培い、文章の展開を把握し、文脈を理解するための読解力を身につけ、古文への全般的興味をさらに深める科目です。

2　学習の到達目標

（１）基礎的な文法を学び、古文を読解する力を身につける。
（２）古文の読解を通して、昔の日本の時代背景、文化、思想などを理解する。
（３）さまざまなジャンルの古典文学作品に触れることで、古文を読む能力を養うとともに、ものの見方や感じ方、考え方の幅を広げ、古文についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語句の意味・用法、文の構造・文法・表記等の知識を身につけ、それらに即して古文を読解し、日本の伝統的な言語文化に対する理解を深められている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	古典の読解力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文学の特質について理解を深めようとし、古典に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	問題演習を通して、古文に親しみ、説話の面白さを知る。 ［教材］ 説話	a：用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用の種類、活用について理解でき、古文の構成・展開に則して登場人物の行動・心情を読み取ることができる。 b[読]：作品が書かれた当時の時代背景・文化・思想等を理解し、現代との違いを述べることができる。 ［書］：課題文の要約を行う。 c：用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用の種類、活用について理解しようとし、古文の構成・展開を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
2学期	問題演習を通して、古文に親しみ、物語の面白さを知る。 ［教材］ 物語	a：敬語の種類・意味について理解し、古文の構成・展開に則して登場人物の行動・心情を読み取ることができる。 b[読]：作品が書かれた当時の時代背景・文化・思想等を理解し、現代との違いを述べることができる。 ［書］：課題文の要約を行う。 c：敬語の種類・意味について理解しようとし、古文の構成・展開を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
3学期	問題演習を通して、古文に親しみ、物語の面白さを知る。 ［教材］ 随筆	a：助動詞・助詞の種類や用法について理解し、古文の構成・展開に則して登場人物の行動・心情を読み取ることができる。 b[読]：作品が書かれた当時の時代背景・文化・思想等を理解し、現代との違いを述べることができる。 ［書］：課題文の要約を行う。 c：助動詞・助詞の種類や用法について理解しようとし、古文の構成・展開を理解しようとている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間